2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	病態と治療IV	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	視聴覚室等
担当教員	藤原 暖 高橋充香 木村 寛 竹内 薫 林 篤志 実務経験 。				

《授業科目における学習内容》

病態と治療IVでは、既習の生体機能学と連動させ、外部・内部環境からの防御機能や免疫機能障害と生体発生と老化について(皮膚・アレルギー・感覚器・生殖器)疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%) ※評価割合 皮膚(20%)、眼科(20%)、耳鼻科(20%)、女性生殖(30%)、歯科(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

成人看護学[9] 女性生殖器 (医学書院) 成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症(医学書院)

成人看護学[12]皮膚(医学書院) 成人看護学[13]眼(医学書院)

成人看護学[14]耳鼻咽喉(医学書院) 成人看護学[15] 歯・口腔(医学書院)

《授業外における学習方法》

教科書やプリントを読んで理解しながら覚える。わからないことは調べ、授業で学習した要点をまとめる。

《履修に当たっての留意点》

各機能別の病態と治療の講義前に生体機能学(解剖生理学)を復習して講義に臨むようにしましょう。また機能については 系統的に理解していき、病態と治療の講義の前に復習しておくことが大切です。

122 4	Marning Control Co					
授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 章	講義	授業を 通じての 到達目標	皮膚障害・免疫機能障害の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。	
	我形式	各コマに おける 授業予定	皮膚の疾患【表在性・真皮・皮下・皮膚付属器皮膚疾患】について (藤原)	配布資料 視聴覚教材		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	皮膚障害・免疫機能障害の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。	
2 元	我形式	各コマに おける 授業予定	皮膚の疾患【脈管系・物理・化学的皮膚障害】について(藤原)	配布資料 視聴覚教材		
第 第 3 刑	講義	授業を 通じての 到達目標	皮膚障害・免疫機能障害の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。	
	我形式	各コマに おける 授業予定	皮膚の疾患【腫瘍および色素異常症、感染症】について(藤原)	配布資料 視聴覚教材		
第	講	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(眼科領域)の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。	
4 月	義形式	各コマに おける 授業予定	眼科の疾患【機能障害】について(高橋)	配布資料 視聴覚教材		
第	講美	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(眼科領域)の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予 後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。	
5 形	義形式	多コマに	眼科の疾患【部位別の疾患】について(高橋)	配布資料 視聴覚教材		

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(眼科領域)の主要疾患・症状・検査・治療合併症・予 後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。
	我形式	各コマに おける 授業予定	眼科の疾患【外傷・全身疾患との関連】について(高橋)	配布資料 視聴覚教材	
第 7 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(耳鼻咽喉科領域)の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。
		各コマに おける 授業予定	耳鼻咽喉の疾患【耳疾患】について(木村)	配布資料 視聴覚教材	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(耳鼻咽喉科領域)の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。 学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。
8	我形式	各コマに おける 授業予定	耳鼻咽喉の疾患【鼻疾患】について(木村)	配布資料 視聴覚教材	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	内感覚器(耳鼻咽喉科領域)の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後について説明できる。	教科書	
9	彩形式	各コマに おける 授業予定	耳鼻咽喉の疾患【咽頭・気道・食道・音声・言語障害】について (木村)	配布資料 視聴覚教材	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	女性生殖器の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後と妊娠・分娩について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことを 接業で学んだことを がらない部の を興味ある疾患について ででする。 学習授業で学んだい部の 学習授業で学んだい部の ででする。 学習授業でからない部の で教科書でとを からないのので、 ででする。 学習授業のである疾患に書を ででする。 学習授業のである疾患に書を ででする。 学習授業のであるないのので、 学習授業のであるないので、 学習授業のであるないので、 学習授業のでいる。 学習授業のでいる。 学習授業のであるないので、 学習を表したいのいて、 でなる。 学習授業のであるないので、 学習を表している。 学のでする。 学のでする。 学のでする。 学のでする。 ででするないので、 ででするないので、 ででする。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でして、 でした。 でして、 でした。 でして、 でして でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、 でして、
10回	我形式	各コマに おける 授業予定	女性生殖器系の疾患【機能的疾患、感染症】について(竹内)	配布資料 視聴覚教材	
第 11 回	講義	授業を 通じての 到達目標	女性生殖器の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後と妊娠・分娩について説明できる。	教科書	
	彩形式	各コマに おける 授業予定	妊娠について①(竹内)	配布資料 視聴覚教材	
第 12 回	講義	授業を 通じての 到達目標	女性生殖器の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後と妊娠・分娩について説明できる。	教科書	
	彩形式	各コマに おける 授業予定	妊娠について②(竹内)	配布資料 視聴覚教材	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	女性生殖器の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後と妊娠・分娩について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。
13	彩形式	各コマに おける 授業予定	分娩、産褥について(竹内)	配布資料 視聴覚教材	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	口腔・歯科の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後について説明できる。	教科書	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことをまとめ、わからない部分や興味ある疾患について教科書や参考書を使って調べる。
14		各コマに おける 授業予定	歯・口腔系の疾患【口腔粘膜・腫瘍、唾液腺】について(林)	配布資料 視聴覚教材	
第	走	授業を 通じての 到達目標	口腔・歯科の主要疾患・症状・検査・治療・合併症・予後について説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	学習内容を教科書で確認。授業で学んだことを まとめ、わからない部分 や興味ある疾患につい て教科書や参考書を 使って調べる。
15 回		各コマに おける 授業予定	歯・口腔系の疾患【口腔粘膜・腫瘍、唾液腺】について(林)		